

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-8680  
 住 所 川崎市川崎区鈴木町1番1号  
 氏 名 味の素食品株式会社  
 取締役社長 進田 浩志

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項（同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	味の素食品株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区鈴木町1番1号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	09	食料品製造業
主たる事業 の内容	調味料の製造、スープ類、その他食品の製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	25,031 k l	
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数	台	
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO <sub>2</sub>	

## (第2面)

計 画 期 間	2019 年度 ~ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
 4 ※印の欄は記入しないでください。  
 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策計画

### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

#### (1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

私たちは、社会とお客様とともに地球との共生に貢献し、持続可能な『循環型社会』を実現します。

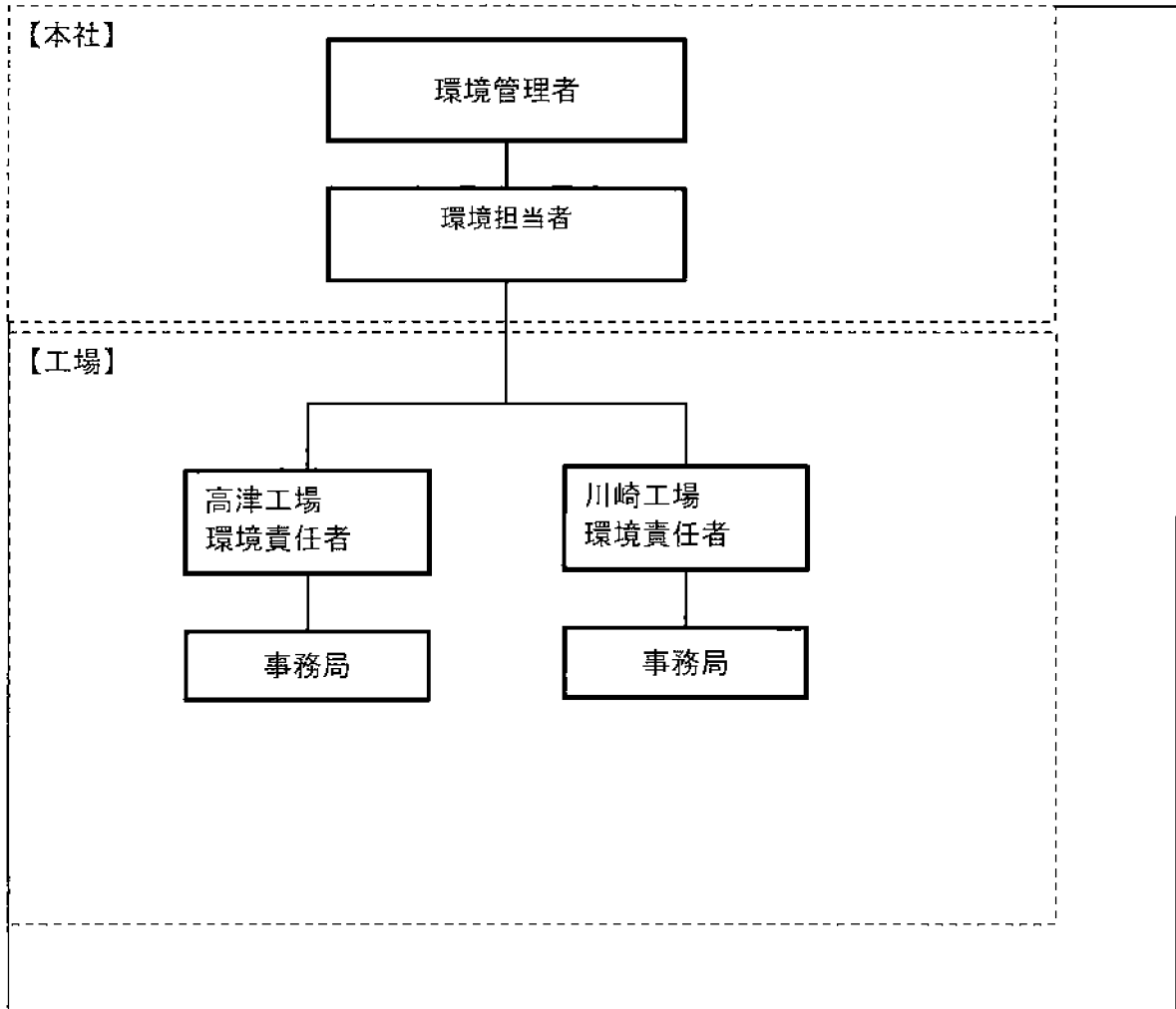
1. 私たちは、製品ライフサイクル全体から排出される温室効果ガスを地球が吸収可能な範囲に抑え、低炭素社会へ貢献します。
2. 私たちは、次世代のための食資源の確保と生態系・生物多様性を含む自然環境の保全、水資源の保全に貢献します。
3. 私たちは、製品ライフサイクル全体から排出される廃棄物の 3R（リデュース、リユース、リサイクル）を適切に行い、資源を活かしきる取り組みを進めます。
4. 私たちは、関係法令等を順守します。
5. 私たちは、環境マネジメントシステムの考え方を基本として、環境トラブルの防止を図るとともに、環境改善の取り組みを進めます。

#### (2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（P D C A サイクル）を行うための方針

- ①味の素グループの排出量削減計画に基づき、省エネ及び排出量削減目標の設定を行い、年度計画を策定する。具体的内容については半期ごとに開催するマネージメントレビューで確認、共有する。
- ②年度計画の実施項目の進捗確認とエネルギー使用量及び排出量の実績管理を行い、予算管理も含めて運転・設備保全上の課題を整理し年度計画の見直しを行う。
- ③マネージメントレビューで省エネ及び排出量削減効果について確認、評価を行う。その評価により実施項目の選定、判断を行う。

以上の基本方針により P D C A サイクルを実行・管理する。

### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（(実)は実排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基準	年度	2018				年度
目標	年度	2021				年度
基準	排出量	(実)	48,973	(実)		
		(調)	49,369 t-CO <sub>2</sub>	(調)	t-CO <sub>2</sub>	
目標	排出量	(実)	47,504	(実)		
		(調)	47,888 t-CO <sub>2</sub>	(調)	t-CO <sub>2</sub>	
削減量		(実)	1,469 t-CO <sub>2</sub>	(実)	t-CO <sub>2</sub>	
内訳	対策実施による削減量	(実)	1,469 t-CO <sub>2</sub>	(実)	t-CO <sub>2</sub>	
	上記以外の削減量	(実)	0 t-CO <sub>2</sub>	(実)	t-CO <sub>2</sub>	
削減率		(実)	3.0 %	(実)	%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原単位等の活動量		生産量			
原単位の単位		t-CO <sub>2</sub> / t			
基準年度の値		0.4918			
目標年度の値		0.4770			
削減率		3.0 %		%	

ウ 目標設定に関する説明

排出量原単位を年平均で1%削減し、目標排出原単位においては3%の削減を目標とした。  
 \*シート2-3 基本方針より  
 高津工場においては実際には生産ライン移設や、設備投資、改善予算も見込めない状況であることから原単位削減は困難であると思われる。

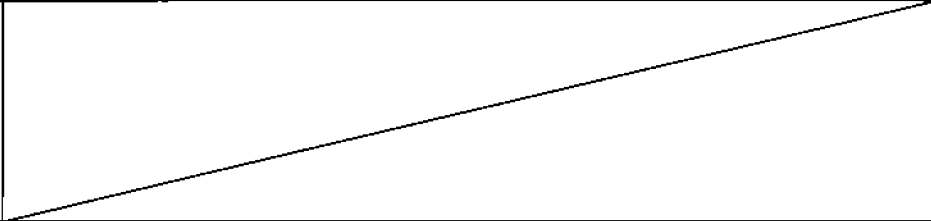
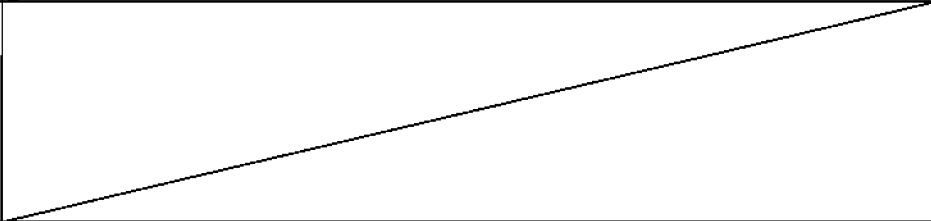
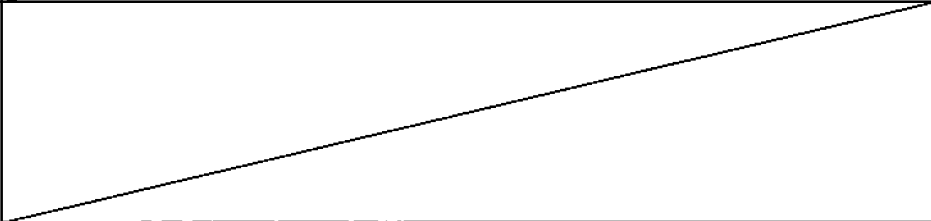
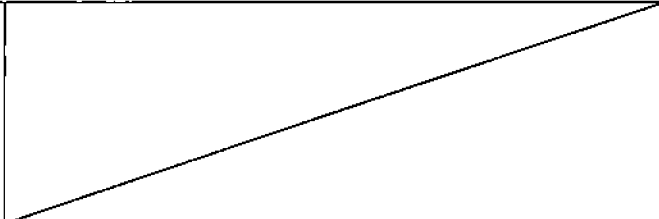
(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

<p>計 画</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進体制 ISOの仕組みとして確立されている。 全社での環境管理検討会にて、情報交換を行う。</li> <li>○主要設備の保安全管理 管理標準をもとに定期的な保守・点検の実施及び記録の管理を行う。</li> <li>○空調機の管理 事務所棟の室内温度は冷房28℃、暖房20℃に設定し管理する。 また、法定点検の実施や、フィルター洗浄等を確実にこなす。</li> <li>○照明設備の管理運用 管理標準をベースにエリア毎に照度を維持する。 点灯管理を実施し、不要時は照明の消灯を実施する。 年2回照度測定を実施、保守点検を維持するとともに記録に残す。 また、更新時はLED照明を採用する。</li> </ul>
<p>第1年度</p>	
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他( )		
その他( )		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他( )	
EV、PHV、FCV	×	その他( )	

5 他者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	・グループ企業を中心にモーダルシフトに取り組み、集積効率の向上や一部得意先への定期配送化による配送車両の削減等を行い、荷主の義務である輸配送に伴うエネルギー使用量の原単位を5年間平均年間1%以上削減を目指す。
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	1. グリーン購入の推進を行う。 森林生態系破壊リスクを考慮した紙資材の調達 2. 廃棄物の減量化、分別化の推進を図る。 3. 廃棄物の有効利用を促進する。
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出の量等の実績(1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出量

(実)	48,973	t-CO <sub>2</sub>
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

25,031	KL
--------	----

ウ 事業所の数

2
---

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
川崎工場	川崎市川崎区鈴木町1-1	41,256 t-CO <sub>2</sub>
高津工場	川崎市高津区下野毛二丁目12番1号	7,717 t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>